

平成24年度 監事監査意見書

事業面では、「地域の絆づくり事業」において、学区社協活動がより円滑に進められるよう活動者証を発行されているが、活動者証に写真が貼付されていないことから、紛失時に他者に悪用される等のおそれがある。そのため、発行にあたっては、全市的に明確な基準を定めていただきたい。また、発行管理簿についても厳密に管理していただきたい。

「北区内ボランティアセンター担当者交流会」における大学等との協働は、学生と地域とをつなぐ先駆的な取り組みである。今後もこの取り組みを広げ、大学生とともに地域の活性化に努められたい。

「健康すこやか学級事業」において、地域性や住民ニーズに応じて、会場を新たに設けるなど、住民に寄り添った活動がされているが、新規に事業を実施される場合には、費用対効果についても考慮されたい。

平成25年5月17日

社会福祉法人京都市北区社会福祉協議会

会 長 森 貞 子 様

社会福祉法人京都市北区社会福祉協議会

監 事 山 田 敬 一

監 事 村 内 義 廣

監 事 小 倉 毅